

2014 JUA/EAU Resident Programme 参加報告

小 幡 淳（慶應義塾大）

この度、私は4月11日から15日までスウェーデンのストックホルムで開催された2014年度のEAU annual meetingにEAU-JUAレジデント交流プログラムの一環として参加させて頂きました。今回は、このプログラムの第1回目ということもあってか、様々な企画への参加というよりは、画に描いたような洗練された街の中で比較的自由に学会を感じることが出来ました。

まず、私も海外の学会への参加は、昨年発表のために行ったAUA1回のみで、滞在期間も短く、しかも自分が発表することになり集中していたため、他の方たちの発表や質疑応答をじっくり聞く機会がありませんでした。その点、今回は時間的にゆとりがあり、様々な国の方々の様々な英語による発表やdiscussionを聞くことができ、国際学会ならではの体験をさせて頂けたのではないかと思います。そんな中で、僅かではありますが聞き取れる範囲も広がっていったと思います。また、今回Video Sessionにも多く参加させて頂きましたが、映画さながらの演出のものもあり、ほとんど日本のものしか見たことがない私にとってはそのオリジナリティがとても刺激的で、今後の参考にさせて頂こうと思いました。また一方で、普段自分が日本の学会でよく拝見したり接したりする先生方が、海外の先生方と互角にdiscussionしている姿は、純粋にかっこよく見え、何か誇らしくも思いました。

そして最後に、私と同じくこの企画に参加されたお二人の同年代の先生方とお話が出来て本当に良かったと思



有名な“ICEBAR”にて 左端が著者

います。こういう機会でもなければ、他の施設の同年代の先生方と仕事について語ることなどなかなか無いことです。話し合いの中で、同年代でも置かれている環境は本当に様々であることを再認識すると同時に、そういう中でも皆それぞれ与えられた立場の中で懸命に働いていることも分かり、今後の励みになりました。

今回このような大変貴重な経験をさせて頂く機会を与えてくださったJUA、EAUの皆様、また参加を勧めて下さった大家先生、その他多くの関係者の方々にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。そして、今後のこのプログラムの発展を心より願っております。